

各種経済指標

指標名	調査主体
各種経済概況報告	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 月例経済報告（平成28年8月） ・ 九州・沖縄の金融経済概況（2016年8月） ・ 佐賀県の金融経済概況（2016年夏） ・ 管内経済情勢報告（平成28年8月） ・ 佐賀県内経済情勢報告（平成28年8月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内閣府 ・ 日本銀行福岡支店 ・ 日本銀行佐賀事務所 ・ 財務省福岡財務支局 ・ 財務省福岡財務支局 佐賀財務事務所
個人消費	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 九州百貨店・スーパー販売額（平成28年6月）確定（旧大型小売店販売額） ・ 乗用車新規登録台数（平成28年7月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 九州経済産業局 ・ 日本自動車販売協会連合会 ・ 全国軽自動車協会連合会
公共工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共工事請負金額（平成28年6月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西日本建設業保証株式会社
生産活動	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉱工業生産指数（平成28年6月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県統計分析課
雇用情勢	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効求人倍率（平成28年6月） ・ 新規求人数、新規求職者数（平成28年6月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐賀労働局
企業倒産	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 発生件数（平成28年7月） ・ 負債金額（平成28年7月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社東京商工リサーチ佐賀支店
<ul style="list-style-type: none"> 消費物価指数（平成28年7月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県統計分析課

●各種経済概況報告

1 国内の景気状況

■月例経済報告（平成28年8月24日公表）【内閣府】

	基調判断
H28.8	景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている【判断据え置き】
H28.7	景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている
H28.6	景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている
H28.5	景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている
H28.4	景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている

2 九州の経済状況

■九州・沖縄の金融経済概況（平成28年8月10日公表）【日本銀行福岡支店】

	基調判断
H28.8	九州沖縄の景気は、熊本地震の影響が和らぐにつれて、緩やかに持ち直している。【判断据え置き】
H28.7	九州・沖縄の景気は、熊本地震の影響により観光面などで弱い動きが続いているものの、営業や生産活動など供給面の正常化が進むもとの、緩やかに持ち直している。
H28.6	九州沖縄の景気は、熊本地震の影響により観光面などで弱い動きが続いているものの、生産活動などの供給面を中心に下押し圧力が和らいできている。
H28.5	九州・沖縄の景気は、熊本地震で生じた供給制約や需要減少により、生産・観光面を中心に急速に下押しされているが、既に正常化や復旧に向けた動きもみられ始めている
H28.4	九州・沖縄の景気は、新興国経済の減速などの影響を受けながらも、緩やかに回復している

■管内経済情勢報告（平成28年8月2日公表）【財務省福岡財務支局】

	基調判断
H28.7	管内経済は、平成28年(2016年)熊本地震による影響はみられるものの、緩やかに回復しつつある【判断据え置き】
H28.4	管内経済は、緩やかに回復しつつある
H28.1	管内経済は、緩やかに回復しつつある
H27.10	管内経済は、緩やかに回復しつつある

※管内：福岡県・佐賀県・長崎県の3県

3 本県の経済状況

■佐賀県の金融経済概況（平成28年7月21日公表）【日本銀行佐賀事務所】

	基調判断
H28夏	佐賀県の景気は、熊本地震の影響などもあって改善テンポがやや鈍化しているものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている【判断引下げ】
H28春	佐賀県の景気は、着実に持ち直しているが、足もとでは平成28年熊本地震による影響が一部にみられ始めている
H28冬	佐賀県の景気は、着実に持ち直している
H27秋	佐賀県の景気は、着実に持ち直している

■佐賀県内経済情勢報告（平成28年8月2日公表）【財務省福岡財務支局 佐賀財務事務所】

	基調判断
H28.8	県内経済は、持ち直しつつある【判断据え置き】
H28.4	県内経済は、持ち直しつつある
H28.1	県内経済は、持ち直しつつある
H27.10	県内経済は、持ち直しつつある

●個人消費

[百貨店・スーパー販売額(旧大型小売店販売額)]

平成28年6月の本県の百貨店・スーパー販売額は、全店(新規店舗を含む調査対象全店舗)で前年同月比0.7%増となり、3月に12か月ぶりに前年同月比を下回ったがその後2か月連続プラス基調。

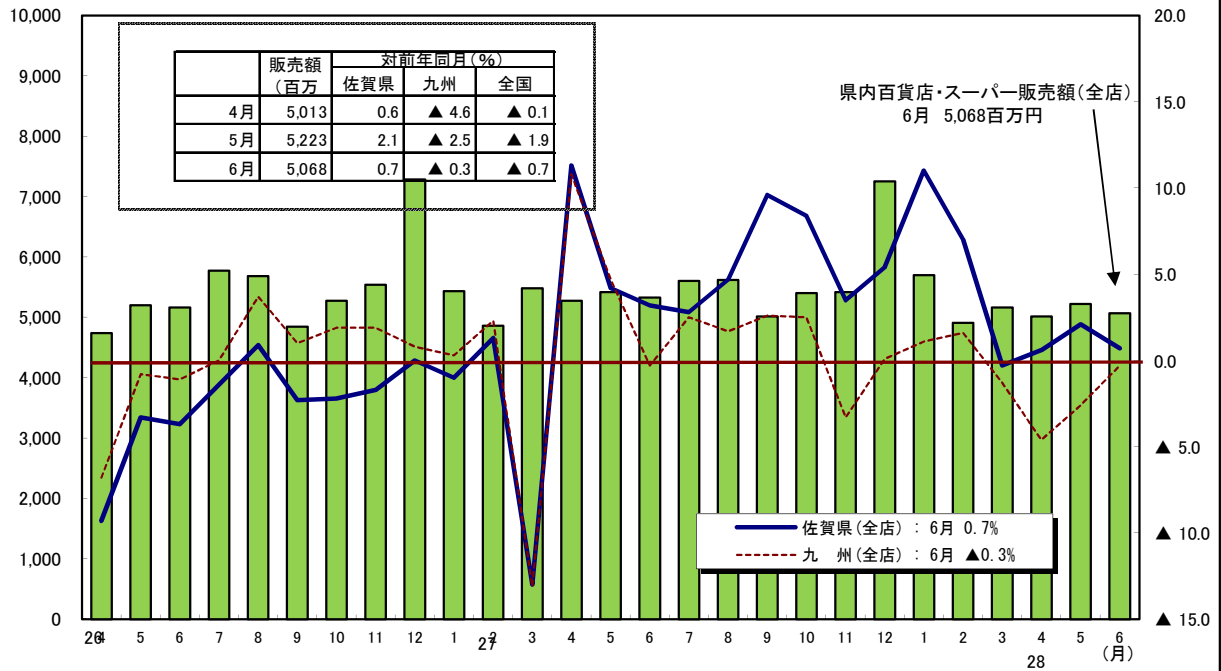
[乗用車新規登録台数]

平成28年7月の本県の乗用車(軽自動車を含む)新規登録台数は、前年同月比▲1.3%(減)となり、5~7月は燃費問題で軽自動車を中心に前年比マイナスが続いている。しかし、落ち込みが続いていた軽自動車は販売再開もあり減少率▲3.8%と改善されつつある。(5月▲25.5% 6月▲33.4%)

(販売額:百万円)

百貨店・スーパー販売額(旧大型小売店販売額)

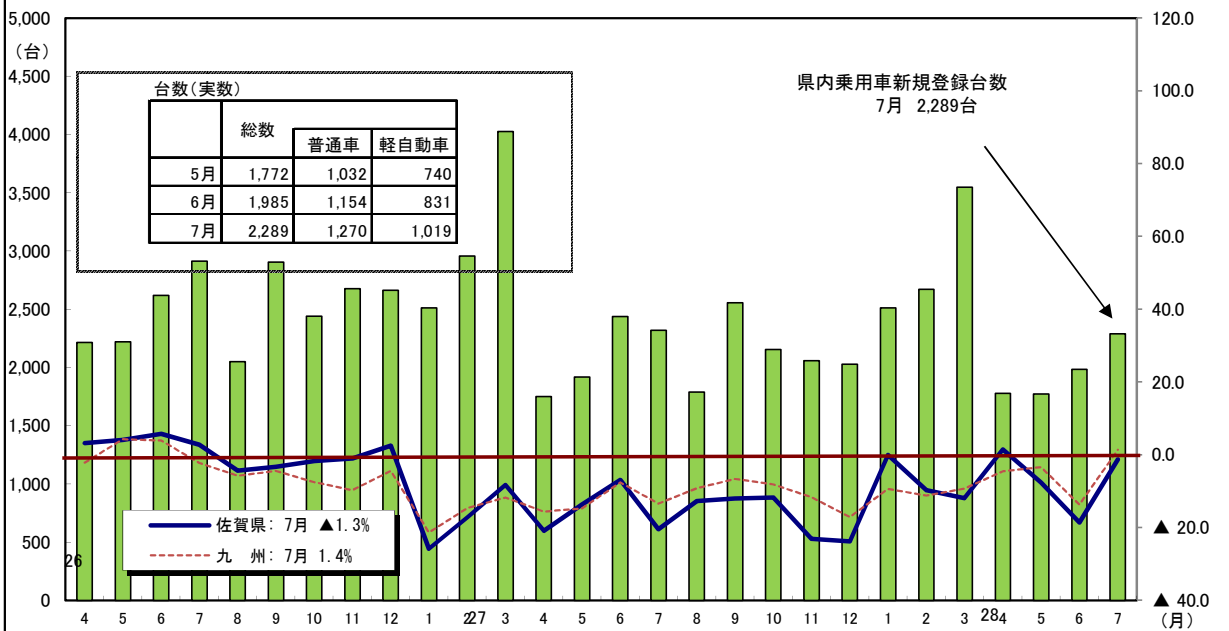
(前年同月比:%)



(資料)九州経済産業局

乗用車新規登録台数

(前年同月比:%)

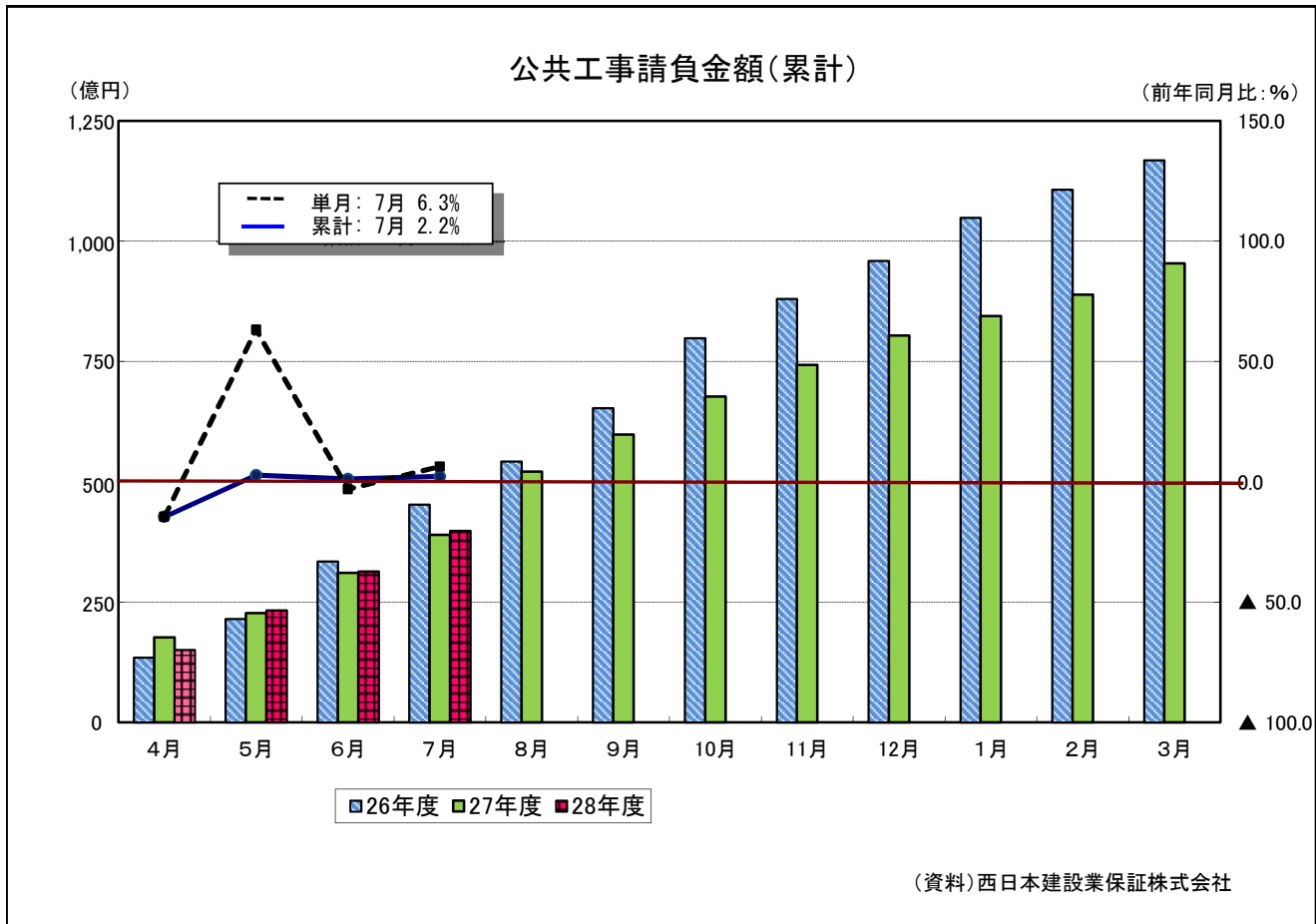


※九州は沖縄を除く

(資料)日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

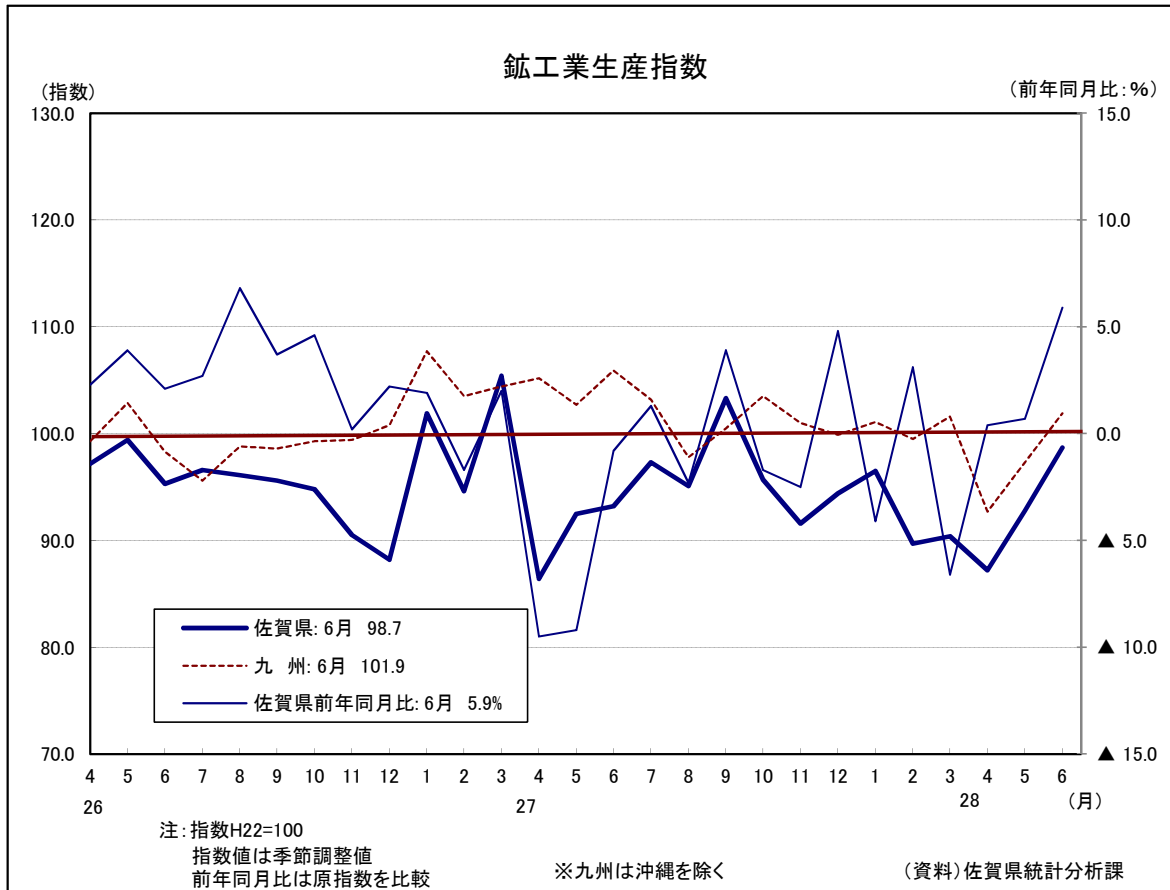
●公共工事

平成28年7月の本県の公共工事請負額は、前年同月比6.3%増の84億円となった。なお、平成28年度の累計(4月～7月)は、398億円であり、対前年比2.2%増となった。



●生産活動

本県の鉱工業生産指数は、平成28年6月の指数は98.7で前年同月比 5.9%増(3か月連続)となっている。



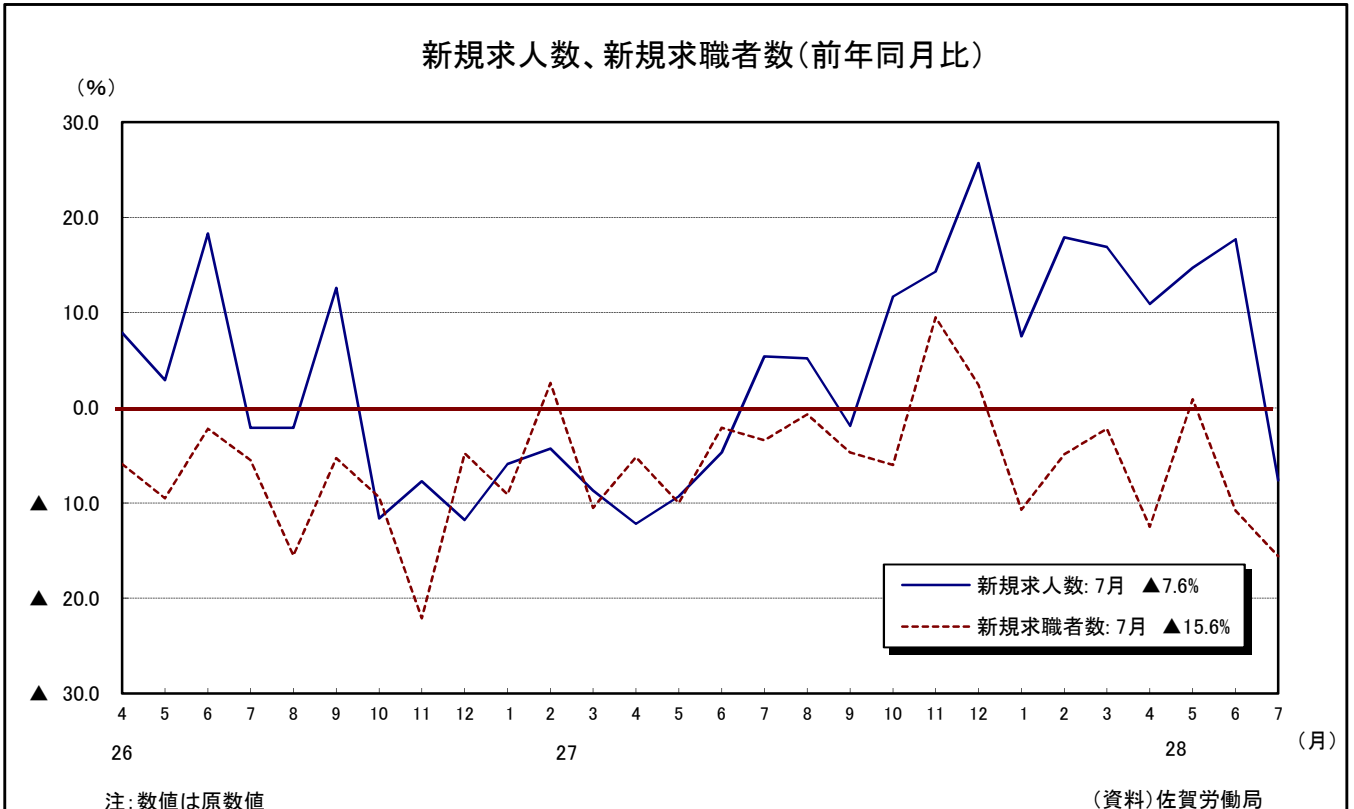
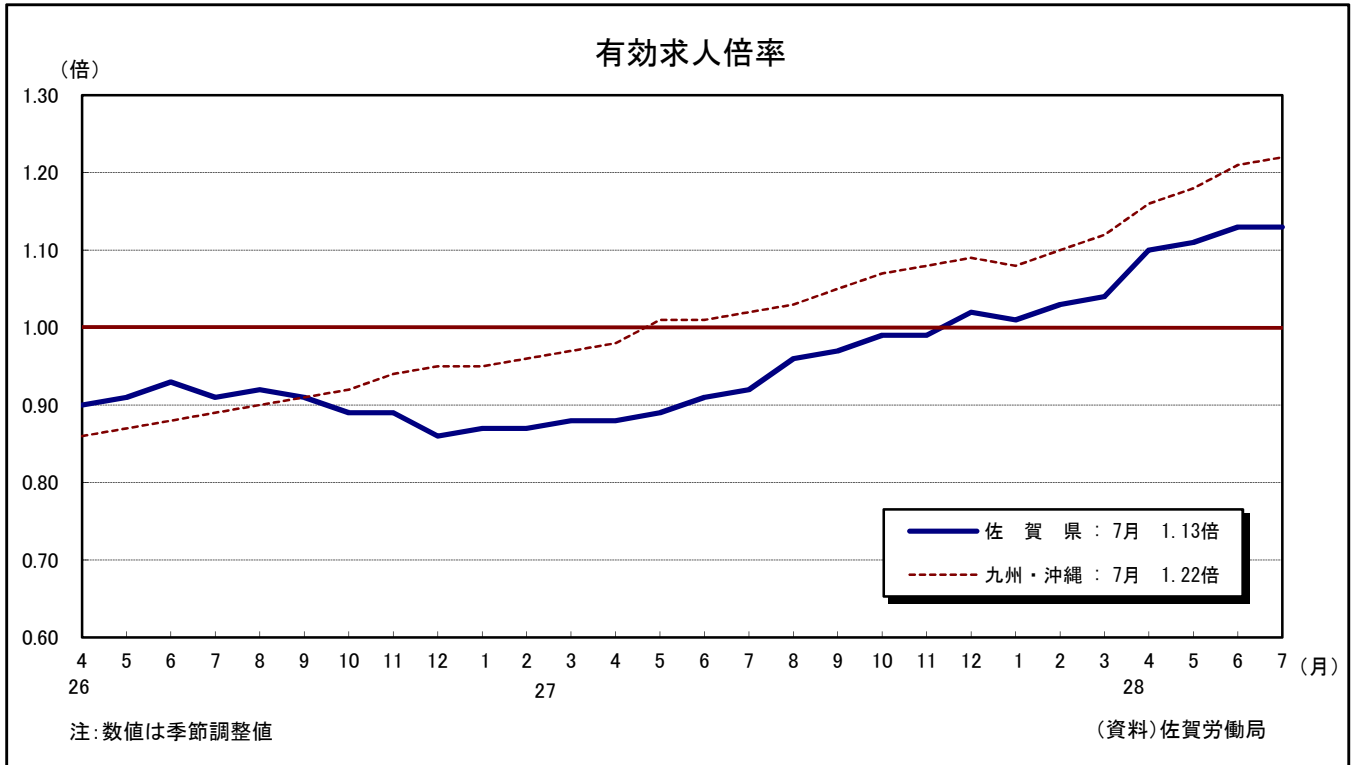
●雇用情勢

[有効求人倍率]

平成28年7月の本県の有効求人倍率(季節調整済)は、前月と同様、1.13倍となり、平成3年9月以来、24年7か月ぶりに1.1倍台となった4月以降1.1倍台を維持している。

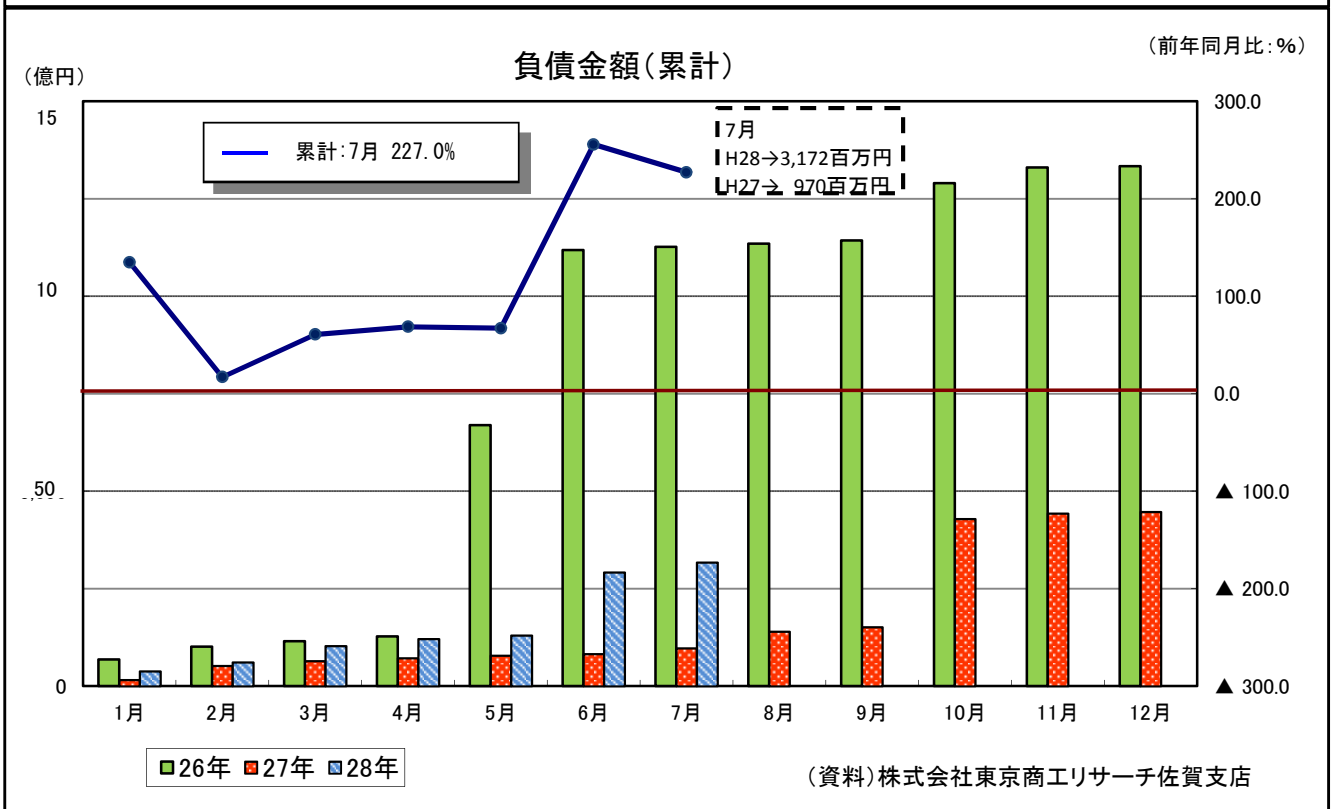
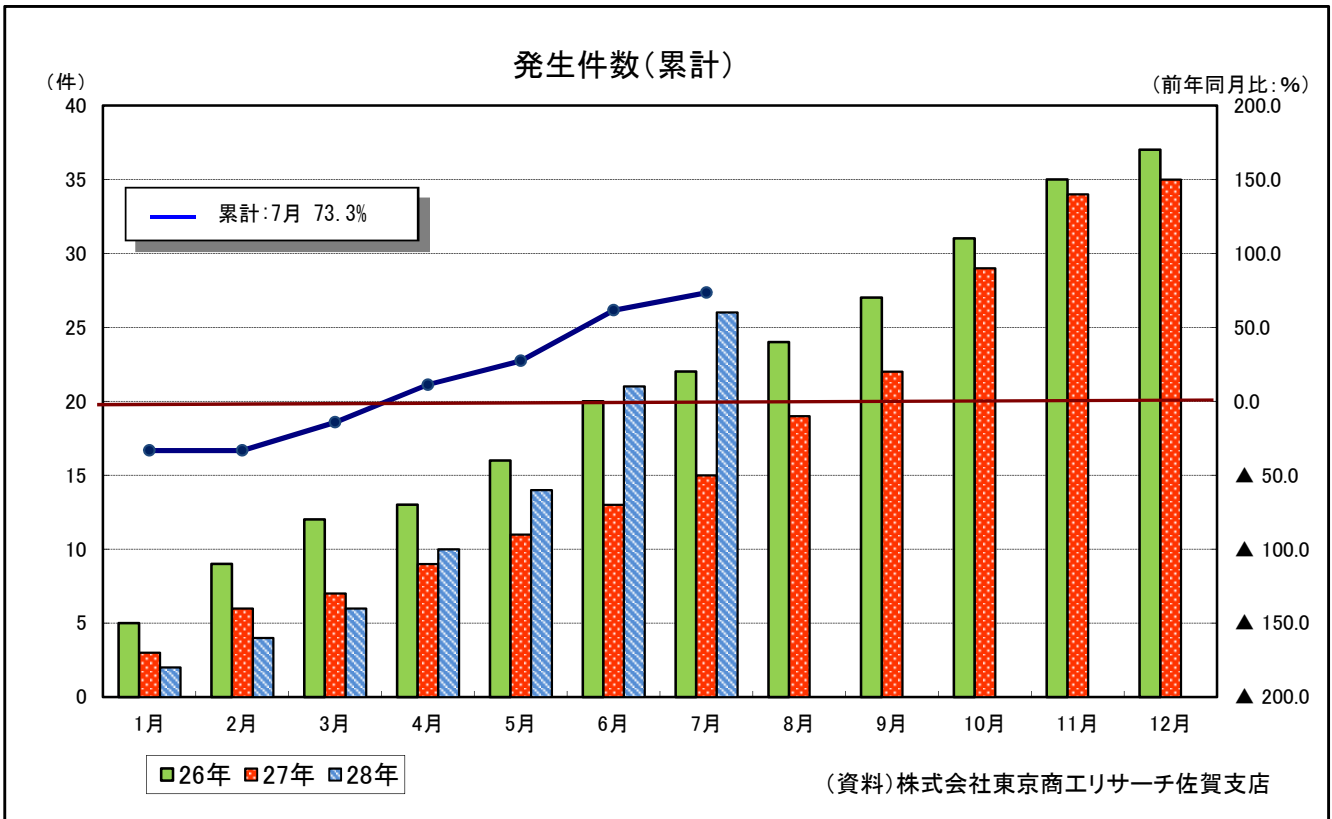
[新規求人数、新規求職者数]

平成28年7月の本県の新規求人数は前年同月比で▲7.6%(減)の5,452人となり、新規求職者数は前年同月比で▲15.6%(減)の3,425人となった。



●企業倒産

平成28年7月の本県の企業倒産件数は5件で、今年の累計では前年同月比73.3%増の26件となった。
 また、平成28年7月の負債額は2億5,600万円で、今年の累計では前年同月比227.0%増の31億7,200万円となった。



●消費者物価指数

平成28年7月の消費者物価指数(佐賀市)は、総合指数が平成27年を100として100.1となっており、前年同月比は(＋)0.0%で変わらずとなった。

また、生鮮食品を除いたコア指数(佐賀市)は100.0、食料(酒類を除く)・エネルギーを除いたコアコア指数(佐賀市)は100.7となった。

